

## 事業計画書

1. 申請する法人について					
法人名		特定非営利活動法人 セカンドアクト・キャリアサポート協会			
法人の設立登記日		2026	年	4 月 6 日	
法人設立前の団体の設立日		2021	年	8 月 21 日 ※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する	
ホームページ・SNS	ホームページ	<a href="https://secondactcareersupport.jp/">https://secondactcareersupport.jp/</a>	Facebook	<a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=61581487336042">https://www.facebook.com/profile.php?id=61581487336042</a>	
	X (旧Twitter)	<a href="https://x.com/secondact_cs">https://x.com/secondact_cs</a>	YouTube	なし	
	Instagram	<a href="https://www.instagram.com/secondact_cs/">https://www.instagram.com/secondact_cs/</a>	その他	<a href="https://lin.ee/9lkscCp">https://lin.ee/9lkscCp</a>	
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	2021年より、コロナ禍でのキャリアコンサルタント情報共有の場として、月1回、学習会や実践交流を開始			
	活動②	2022年から、ミドル・シニア世代のキャリア課題が社会的構造問題であると認識し、活動の公共性を強化するべく、事例検討会も3か月に1回、実施			
	活動③	2024年から、公共性ある支援体制構築のため、NPO法人化を決意し、継続的な支援基盤の整備するため、他団体との交流も年2回実施			
	活動④				
	活動⑤				
助成金等の交付実績  ※ 2023年4月～2026年3月 に交付された助成金等を記載  ※ 5件以上ある場合は、 直近のものから5件を記載		助成金等名称	交付者	交付年月	交付額
	助成金等①			年 月	円
	助成金等②			年 月	円
	助成金等③			年 月	円
	助成金等④			年 月	円
	助成金等⑤			年 月	円
申請する事業に従事する社員		氏名	役割		
	社員①	佐々木 かつら	事業総括責任者		
	社員②	金子 芳正	ミドル・シニア層向け、研修企画・運営責任者		
	社員③	成毛 幸夫	キャリアコンサルタント学習会、実践交流企画・運営責任者		
	社員④	上田 竜太郎	ミドル・シニア層向け、体験会企画・イベント担当者		
	社員⑤	山中 郁	広報・会計システム担当者		
	その他従事社員数	7	人	ミドル・シニア層研修担当者3名、広報担当2名、会計担当2名	
	従事社員総数	12	人		

## 2. 申請する事業について

事業名	ミドル・シニア層の世代別課題に対応した個別・グループ・企業・団体向けキャリア支援事業	事業区分	スタートアップ支援事業	事業分野	つながり・支え合い
事業対象	主にさいたま市及び周辺地域	対象地域	主にさいたま市及び周辺地域	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2027/2/28

### 解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

県内のミドル・シニア世代では、役職定年制度の拡大や管理職ポストの縮小により、働きがいや自己効力感の低下が顕著になっています。外的キャリアを中心に形成してきた価値観からの転換が進まず、セカンドキャリアへの移行に迷いを抱える人も多い状況です。また、健康不安や親の介護、生活負担の増加により、心身の安定や自己肯定感の維持が課題となっています。一方、ミドル世代は育児・妊活・介護といったライフイベントと、昇進・定年前準備が重なる時期にあり、キャリア選択が個人の価値観や生活に大きく影響しています。こうした複合的課題に対し、地域で安心して相談・学習できる支援体制が十分に整っていないことが現状の課題です。

### 上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

本事業では、キャリアコンサルタントによる相談支援、事例検討会、学び直し講座、就労支援プログラムを体系化し、ミドル・シニア世代が自らの経験を再整理し、地域で活躍できる力を高める場を提供する。オンラインと対面を組み合わせ、地域差なく参加できる仕組みを整える。また、企業・自治体・支援機関と連携し、職場内キャリア支援や人材活用の改善にも働きかける。個人支援と組織支援を両輪とすることで、地域全体のキャリア形成環境を底上げすることを目的とする。

### 事業効果（※事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載）<300字程度>

本事業により、参加者は自己理解の深化や再就職力の向上を得られ、離職後の長期化防止や職場定着率の向上が期待できる。オンライン支援を軸にすることで、県内全域から参加可能となり、地域格差を超えた支援提供が実現する。また、企業向け研修や相談体制の構築支援を行うことで、県内企業の人材活用力が向上し、経験豊富な中高年人材の活躍機会が広がる。これらの成果は、労働力不足が進む県内産業全体に波及し、地域経済の持続性向上に寄与する。

### 事業の発展性（これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載）<300字程度>

これまでの学び合い活動で蓄積したノウハウを基盤に、相談支援・研修・講座を体系化し、受益者負担と企業連携による収益モデルを構築する。オンライン化により運営コストを抑えつつ、専門家ネットワークを拡大し、多様な講座や支援メニューを提供する。さらに、参加者データを分析し、支援内容の改善や地域ニーズに応じた新規プログラム開発を行う。行政・企業・教育機関との協働を進め、事業の持続性と社会的インパクトを高める体制を整える。

### 事業の先駆性・モデル性（※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載）<300字程度>

本事業は、ミドル・シニア世代のキャリア支援を「個人支援」「企業支援」「地域連携」の三層で統合的に実施する点に先駆性がある。特に、キャリアコンサルタントの専門性を活かした事例検討会や実践知の共有を継続的に行う仕組みは、地域内での専門職育成にも寄与する。また、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型支援は、地域差を超えて広域展開できるモデルとして他地域にも応用可能である。地域の中高年活躍を支える新しい支援モデルとして発展性が高いと考える。

—

—
---

### 3. 申請事業の具体的な取組内容

取組①	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)		
	ミドル・シニア層向け、研修	新規	7月 ~ 11月	さいたま市内および県内周辺地域	生涯学習センターまたは浦和コミュニティセンター 予定		
	取組の目的<200字程度>						
	ミドル・シニア世代がこれまでの経験を整理し、強みや価値を再認識するとともに、今後の働き方や生活設計を主体的に描けるよう支援することを目的とする。研修では学び直しやキャリア形成の視点を提供し、面談では個別課題に応じた具体的な行動整理を行う。これにより、再就職・職場定着・地域での活躍機会の拡大を促し、中高年のキャリア停滞や孤立の防止につなげる。						
	取組の内容<100字程度>						
	さいたま市内で年2回、シニア世代を対象に課題別の研修会を実施し、参加者は県内全域から募集し、再就職や地域での活躍につながる実践的な支援を提供する。						
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額
ミドル・シニア層		月 1回 × 2か月 = 2回		各回 8名 × 2回 = 16名		1名あたり 1,500円 × 16名 = 24,000円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)				
12名	1名	0団体					

取組②	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)		
	ミドル・シニア層向け、面談	新規	7月 ~ 11月	さいたま市内および県内周辺地域	zoomによるオンライン		
	取組の目的<200字程度>						
	ミドル・シニア世代がこれまでの経験を整理し、強みや価値を再認識するとともに、今後の働き方や生活設計を主体的に描けるよう支援することを目的とする。研修では学び直しやキャリア形成の視点を提供し、面談では個別課題に応じた具体的な行動整理を行う。これにより、再就職・職場定着・地域での活躍機会の拡大を促し、中高年のキャリア停滞や孤立の防止につなげる。						
	取組の内容<100字程度>						
	さいたま市内で年2回、シニア世代を対象に課題別の研修会の後に個別キャリア面談を行うことで、再就職や地域での活躍につながる実践的な支援を提供する。						
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額
ミドル・シニア層		月 8回 × 2か月 = 16回		各回 1名 × 16回 = 16名		1名あたり 1,500円 × 16名 = 24,000円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)				
12名	1名	0団体					

取組③	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	ミドル・シニア層向け、研修と面談		新規	7月 ~ 11月	さいたま市内	(研修)生涯学習センターまたは浦和コミュニティセンター 予定と(面談)zoomによるオンライン
	取組の目的<200字程度>					
	ミドル・シニア世代がこれまでの経験を整理し、強みや価値を再認識するとともに、今後の働き方や生活設計を主体的に描けるよう支援することを目的とする。研修では学び直しやキャリア形成の視点を提供し、面談では個別課題に応じた具体的な行動整理を行う。これにより、再就職・職場定着・地域での活躍機会の拡大を促し、中高年のキャリア停滞や孤立の防止につなげる。					
	取組の内容<100字程度>					
	さいたま市内で年2回、シニア世代を対象に課題別の研修会と個別キャリア面談を行うことで、再就職や地域での活躍につながる実践的な支援を提供する。					
	対象者		事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
ミドル・シニア層		月 1回 × 2か月 = 2回	各回 8名 × 2回 = 16名	1名あたり 2,500円 × 16名 = 40,000円		
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)			
12名	1名	0団体				

取組④	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)	
				~			
	取組の目的<200字程度>						
	取組の内容<100字程度>						
	対象者		事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額		
			月 回 × か月 = 0回	各回 名 × 0回 = 0名	1名あたり 円 × 0名 = 円		
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)			
名	名	団体					

取組 ⑤	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)								
	取組の目的<200字程度>													
	取組の内容<100字程度>													
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額							
			月	回 ×	か月 =	0 回	各回	名 ×	0 回 =	0 名	1名あたり	円 ×	0 名 =	円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)										
	名	名	団体											

#### 4.申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	シニアのキャリア自立支援と認識できた割合	75%	研修参加者利用者へアンケート調査	
2	地域内のキャリア支援アクセス格差の解消できたと思った割合	70%	研修参加者利用者へアンケート調査	
3	企業・地域との連携による活躍機会の創出と感じた割合	65%	研修参加者利用者へアンケート調査	
4				
5				
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	ミドル・シニア層向け、研修	研修参加者数	10名以上	当法人調べ
取組②	ミドル・シニア層向け、面談	面談参加者数	10名以上	当法人調べ
取組③	ミドル・シニア層向け、研修と面談	研修と面談参加者数	10名以上	当法人調べ
取組④	0			
取組⑤	0			

## 5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	対象者への情報到達と参加促進
	課題解決のための取組・工夫	ミドル・シニア層は情報源が限定され、行政・支援機関の情報にアクセスしづらい層が一定数存在する。そのため、研修・面談の存在を十分に認知されず、参加につながりにくい。自治体広報、地域包括支援センター、ハローワーク、企業OB会など複数チャンネルと連携し、対象者に直接届く周知体制を構築する。オンラインと紙媒体を併用し、情報格差を最小化する。
	目標	対象者への認知度向上と参加者数の安定確保を図り、年2回の研修を継続的に成立させる。
課題②	具体的な課題	個別支援の質と継続性の確保
	課題解決のための取組・工夫	参加者の課題は多様であり、短期的な面談だけでは十分な行動変容につながらないケースがある。また、支援者側のスキル差によって支援品質がばらつく可能性がある。キャリアコンサルタントによる事例検討会を定期開催し、支援スキルの標準化と質向上を図る。研修後のフォロー面談やオンライン相談を導入し、継続的な支援体制を整える。
	目標	支援品質の均質化と行動変容の定着を実現し、再就職・地域活動への参加率向上につなげる。
課題③	具体的な課題	事業の持続可能性と地域への波及
	課題解決のための取組・工夫	単年度事業では効果が限定的となり、地域全体のキャリア形成環境の改善につながりにくい。また、財源確保や協働先の拡大が不十分だと事業継続が難しい。企業研修や相談体制構築支援など、企業向けサービスを組み合わせた収益モデルを構築する。行政・企業・地域団体との協働を強化し、広域展開可能な仕組みを整える。
	目標	事業の自立的運営を実現し、県内全域に波及可能なキャリア支援モデルとして定着させる。

## 6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

1年後には、研修と個別面談の実施体制が確立し、年2回の研修が安定的に開催される。参加者の課題傾向や支援ニーズが可視化され、支援モデルの基礎データが蓄積されるとともに、地域支援機関や企業との連携が始まる。2年後には、研修・面談内容が体系化され、支援成果が定量的に示せる段階に達する。企業・自治体との協働が進み、企業向け研修等の収益事業が一部稼働し、地域モデルとして評価が高まる。3年後には、財源の多様化により自立的運営が可能となり、県内他地域への展開が視野に入る中核的機関へと成長することを目指す。

## 収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 セカンドアクト・キャリアサポート協会  
事業名 ミドル・シニア層の世代別課題に対応した個別・グループ・企業・団体向けキャリア支援事業

1. 収入の部				460,992								
項目				予算額(円)		積算内訳						
<b>a.助成金交付申請額</b>				300,000		※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります						
<b>b.自己資金</b>				72,992		※自動計算						
<b>c.事業実施による収入等</b>				88,000								
(収入の内容)	研修体験活動イベント費	(該当する事業)	事業1	24,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)	面談体験活動イベント費	(該当する事業)	事業2	24,000	1,500	円	×	8	人	×	2	回
(収入の内容)	研修と面談セット体験活動イベント費	(該当する事業)	事業3	40,000	1,500	円	×	8	人	×	2	回
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>d.その他</b>				0								
(収入の内容)		(該当する事業)		0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

2. 支出の部				460,992								
項目				予算額(円)		積算内訳						
<b>a.会場費</b>				12,000								
(支出の内容)	会場費	(該当する事業)	事業1	6,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	会場費	(該当する事業)	事業3	6,000	3,000	円	×	2	回	×	0	円
(支出の内容)		(該当する事業)		0	3,000	円	×	2	回	×	0	円
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>b.通信運搬費</b>				0								
(支出の内容)		(該当する事業)		0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>c.旅費交通費</b>				104,000								
(支出の内容)	スタッフ交通費	(該当する事業)	事業1	52,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	スタッフ交通費	(該当する事業)	事業3	52,000	2,000	円	×	2	回	×	13	名
(支出の内容)		(該当する事業)		0	2,000	円	×	2	回	×	13	名
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

<b>d.消耗品費</b>				53,992	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	研修資料・筆記用具代(インク代、印刷代含む)	(該当する事業)	共通経費	28,000	1,000	円	×	28	名	×		
(支出の内容)	オンラインツール使用料(1,999円×8か月)	(該当する事業)	共通経費	15,992	1,999	円	×	8	か月	×		
(支出の内容)	プロジェクター	(該当する事業)	共通経費	10,000	10,000	円	×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>e.備品費</b>				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0		円	×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>f.委託費</b>				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0		円	×		回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>g.謝金</b>				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>h.人件費</b>				291,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	(研修)事業①研修スタッフ(法人講師、グループファシリテーター含む)	(該当する事業)	事業1	120,000	5,000	円	×	12	名	×	2	回
(支出の内容)	(研修)事業①有償ボランティア	(該当する事業)	事業1	6,000	3,000	円	×	1	名	×	2	回
(支出の内容)	(面談)事業② ①の参加者へのオンライン面談(従業員、ボランティア含む)	(該当する事業)	事業2	39,000	1,500	円	×	13	名	×	2	回
(支出の内容)	(研修+面談)事業③(法人講師、ファシリテーター、面談者)	(該当する事業)	事業3	120,000	5,000	円	×	12	名	×	2	回
(支出の内容)	(研修+面談)事業③(有償ボランティア)	(該当する事業)	事業3	6,000	3,000	円	×	1	名	×	2	回
<b>i.その他</b>				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		